やまがた 元氣 **農の風** NO.32

山形県高畠町

農事組合法人　くだもの畠
（のうじくみあいほうじん　くだものばたけ）

高畠町で育った「果樹農家」４人組です。受け継がれてきた「美しい風景」を未来に残すため、くだもの畠プロジェクトを立ち上げました。

経営のきっかけ・こだわり・思いをお聞かせください。

高畠町は、果物栽培が盛んな土地柄ですが、果樹農家の高齢化が進み熟練した果樹農家不足が課題となっています。

そんなふるさとの果物産業の衰退に危機感を抱いた４名の果樹園代表が、自分たちが「なんとかしなければ！！」という強い思いで、 2015年3月に、「農事組合法人　くだもの畠」を立ち上げ、もも60a、ぶどう15a、ラ・フランス50aの栽培と、若者がもっと農業に参入できるよう新規就農支援を積極的に行っています。

「農事組合法人　くだもの畠のメンバー」
左から、理事の斎藤政考さん、理事の今野直樹さん、
代表理事の佐藤尚利さん、理事の嶋倉直樹さん

農業の魅力についてお聞かせください。

４人での経営や時間の共有は楽しいことでしたが、新規就農者を受入れて教えることで、自らの勉強になり、新規就農者との付き合いも楽しいと感じています。

農業未経験者を受入れた当初は、新規就農者支援を活用し、研修生の研修費や生活費等に充てるなど金銭的に大変でしたが、今では、仲間が増えていくことや、異なる地域の人たちとの情報共有が農業の魅力のひとつだと思います。

収穫間近のラ・フランス
(画像提供:農事組合法人くだもの畠)

今後の経営、目標や夢、将来展望をお聞かせください。

新規就農者が情報・技術を引き継いで、高畠町での果樹生産が未永く続いてほしいと願っています。私たちも新規就農者に負けないよう頑張っていきたいです。

お互いが仲間でありライバルでもあり、「くだもの畠」に取り組んで本当に良かったと言えるようにしたいと思っています。

農事組合法人として８年間続けてこれたことを誇りに思っています。

収穫作業中の佐藤尚利さんのラ・フランス畑

東北農政局 山形県拠点 地方参事官室
TEL:023-622-7231／FAX:023-622-7256